

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成18年度 技術情報第9号（普通期水稻のトビイロウンカ）について（送付）

普通期水稻のトビイロウンカについて、下記のとおりとりまとめましたので送付します。

平成18年度 技術情報第9号

本年は、水稻海外飛来性害虫のトビイロウンカの飛来量が多く、これまでに注意報第3号（平成18年7月12日付け）、技術情報第6号（平成18年7月31日付け）、注意報第4号（平成18年8月8日付け）を発表して防除を呼び掛けてきたところであるが、一部のほ場では、9月5～8日の巡回調査で増殖率が高い短翅型雌成虫や幼虫の発生が確認され、今後、坪枯れの発生が懸念される。

そこで、今後の防除対策について以下のとおりとりまとめたので、注意の上、適切な防除に努める。

- 1 対象病害虫 トビイロウンカ
- 2 対象作物 普通期水稻
- 3 発生状況

9月5～8日の巡回調査では、一部のほ場で、増殖率の高い短翅型雌成虫や幼虫の発生が認められた。

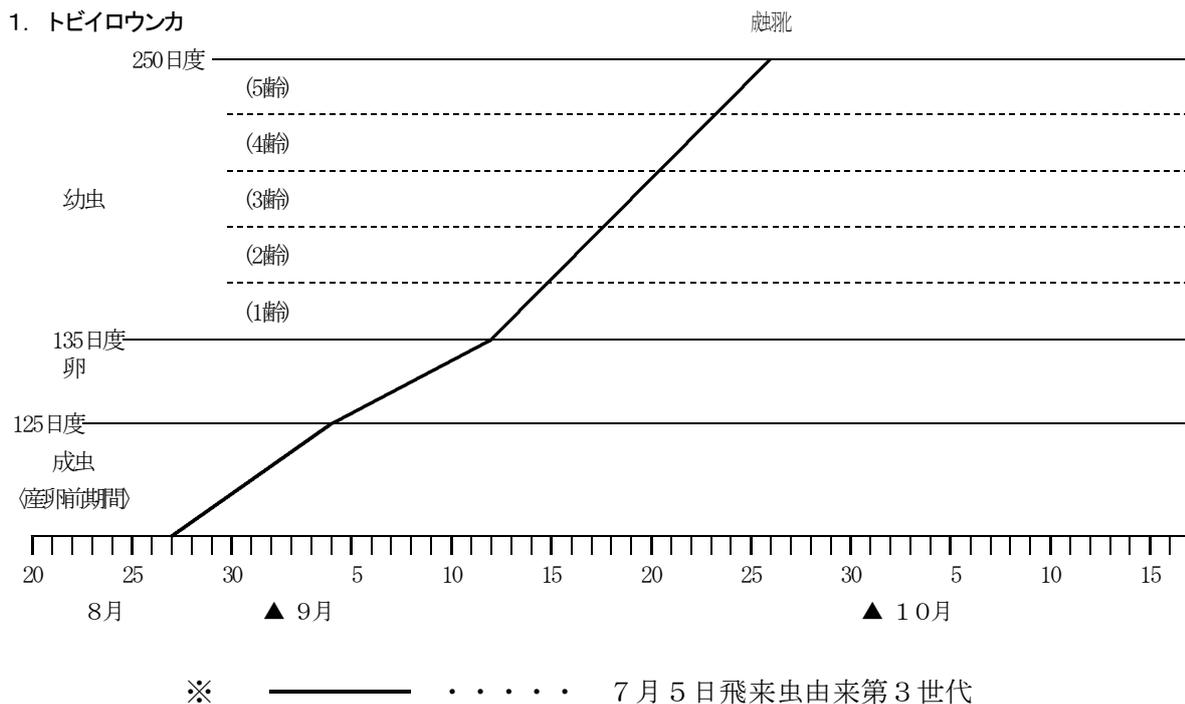
4 防除対策及び防除上注意すべき事項

- (1) トビイロウンカの第3世代幼虫の孵化期は9月12日以降で、防除適期は9月16～20日頃と予測される。（別紙、発生経過予測図を参照。）
- (2) トビイロウンカのほ場間及びほ場内の分布にはムラがあるので、出来るだけほ場全体の発生状況を確認し、発生が認められた場合は早急に防除する。
- (3) 本虫は稲の株元に生息するので、粉剤や液剤で防除する場合は、薬剤が株元に十分届くように行う。
- (4) 薬剤散布にあたっては、農薬の使用基準を遵守し、薬剤の飛散に十分注意して行う。

(参考資料)

海外飛来性害虫の有効積算温度による発生経過予測図 (鹿児島地方気象台：鹿児島のデータを使用)

鹿児島県病害虫防除所 2006年 9月11日 作成



(注) 気温の低い地域では予測より2~4日程度遅くなる。